

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月28日更新

事務事業名		民生・児童委員活動事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部
	施策	18	社会福祉の推進			所属課	福祉課
	施策の柱	53	地域福祉の推進			所属班	社会福祉班
予算科目	会計	一般	款	項	目	事業連番	根拠法令
			3	1	1	10546	民生委員法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			
						成果優先度評価結果	: ③
						コスト削減優先度評価結果	: ⑪

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	・合志市民生委員・児童委員協議会連合会へ補助金を支出し、補助金は東部民児協議会・西部民児協議会それぞれに分配される。補助金は両民児協の活動費として利用される。昭和23年に民生委員法が制定され、任期は3年で、委員は厚生労働大臣から委嘱される。 ・合志市においても高齢世帯、ひとり暮らし世帯が増加してきている。・民生委員児童委員に対する要望が多岐にわたってきており、なかなか手が少なくなってきた。 ・第2期地域福祉計画が策定され、民生・児童委員の活動の期待が高まっている。安心生活創造事業により民生・児童委員の活動範囲も広がっている。
【業務の流れ】	①合志市民生委員・児童委員協議会連合会から事業承認申請書を受理②審査③補助金の内示④補助金交付申請書を受理⑤補助金の交付決定、通知⑥概算払申請書を受理⑦補助金の交付⑧実績報告書を受理⑨補助金の確定、通知(合志市補助金等交付規則による)⑩県補助金申請事務⑪協議会定例会、役員会への参加
【主な予算費目】	報酬・旅費・補助金
【意見や要望】	・協議会からは補助額を減額しないでほしい、増額を行ってほしいとの要望がある。 ・民生委員に対して無理な要望をする市民もあり、なり手の減少に拍車をかけているところもある。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	民生・児童委員の活動に対し補助金を交付した。役員会・定例会・部会へ出席した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 民生委員活動を支援するとともに、定例会への出席などを継続し、連携を図っていく。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)回	予算の主な増減の理由 なし
→ア: 定例会開催回数	→イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	①民生委員児童委員協議会②民生委員児童委員	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)人 →ア: 民生委員児童委員数 →イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	①民生委員活動を円滑に行える②民生委員活動を円滑に行われるように、その活動に必要な知識を入手できる	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)件 →ア: 相談・支援件数 →イ: 延べ活動日数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 必要な知識を入手することで、より多くの相談等に応じることができる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア	回	24	24	24	24	24	24	24	24	
	イ										
② 対象指標	ア	人	93	94	97	94	97	97	97	97	
	イ										
③ 成果指標	ア	件	1,537	1,591	1,500	1,748	1,500	1,500	1,500	1,500	
	イ	日	15,143	16,894	16,000	16,318	16,000	16,000	16,000	16,000	
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	424	424	424	424	424	424	424	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	千円	9,095	9,365	9,467	9,452	10,230	9,857	9,857	9,857	
	(A)のうち指定経費	千円	45	26	26	78	104	26	26	26	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	600	614	600	600	600	600	600	600	
(B) 人件費計	千円	0	2,446	2,390	2,227	2,390	2,390	2,390	2,390		
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,519	12,235	12,281	12,103	13,044	12,671	12,671	12,671		

事務事業名	民生・児童委員活動事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 今年度も多くの活動や相談支援が行えた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新任委員の研修を行うことで達成すると思われる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 今後も高齢者の増加等により成果の向上余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 事業主体が異なるので統廃合は出来ない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 日頃の活動に対する最低限の補助と考えている。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 定例の会議等があり削減の余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 民生委員活動を円滑に行ってもらうための補助であり、負担を求める性格の物ではない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 自立した運営が単位民協ごとにてできており適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

今年度も各種研修を行った。円滑な活動が行えるようになった。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					